コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟蔭

平成２９年５月１７日（水） Ｎｏ.３ 文責 校長 岡（おか） 摂（とおる）

～～～～～～～ 体育会に向けて… ＆ 地域での活動について… ～～～～～～～

☆ ５月２日（火）体育会結団式

第３３回体育会の取組が本格的にスタートしました。今年のスローガンは**「Do Our Best ～燃やせ情熱 出しきれ本気～」**です。結団式では、「青」・「黄」・「赤」の三ブロック毎に、リーダーを中心に生徒たちの熱気あふれる姿を見ることができました。ここでは、「ブロック制」を取ることに大きな意義があります。準備や練習に時間はかかるのですが、教師の力に頼らず自分たちの力でどのくらいやれるのか、これは生徒の主体性を引き出す上で最も重要なことです。また、教師にはできなくても生徒たちの自治的活動だからこそできることがたくさんあります。１～３年生の異年齢で構成された各ブロックがどう動くのか本番がとても楽しみです。どうぞ、練習風景もご覧ください。

【校歌：体育会バージョン】

☆ ５月１３日（土）おおさの川清掃・校区清掃活動、地区別集会

【おおさの川を愛する会・PTA 役員 等】

「おおさの川を愛する会」が主催する川の清掃活動に、平成２０年度から学校行事として参加しています。１年生が川の清掃、２・３年生が学校近隣の除草作業・ゴミ拾い等をしています。今回は前日の雨のため、残念ながらおおさの川清掃に生徒は参加できませんでしたが、作業に集中して真面目に取り組む生徒の姿が立派でした。

活動の前、大きな意味が二つあると生徒に話しました。一つは、本校の特徴的な教育活動として、「文化理解科」や「国際理解教育」があります。国際化や情報化が進んでいくこれからの時代、「まず、自分が生まれたり育ったりしたところ、『ふるさと・太宰府』をよく知ることが全てのベースになる」ということです。作業は単純でも『ふるさと・太宰府』を考えるよい機会になります。もう一つは、コミュニティ・スクールです。学校と家庭と地域の三者が連携・協働して、「子どもたちの健全育成」と「地域の発展・活性化」を目指します。「中学生が地域をきれいにすることだけでなく、地域で活動することそのものが地域の活性化につながる」ということです。１時間前後の短い時間ではありましたがとても価値ある活動でした。

なお当日は、九つの自治区に分かれて「地区集会」をもちました。同地区でお互いに顔を合わせ、代表者も決め、地域行事等に積極的に取り組んでいけるよう準備しています。

【地区集会】

生徒の感想を一部抜粋で紹介します。

○　今日、大佐野川清掃が変更になって校舎の周りを清掃しました。フェンスの周りはとても草が多く、しっかり生えている草もありました。でも、ちゃんと根から取って少しでもきれいにしようとしました。大佐野川は中止になったけど、自分から地域をきれいにしたい。（１年生）

○　（前略）蛍の川に行きたかったけど残念だ。昔の人が苦労してきれいな川になったので、どんどん受け継いで、ずっときれいであって欲しい。（１年生）

○　（中略）私たちの住む太宰府市をきれいにすることが、こんなに気持ちの良いものだと気づきました。とってもスッキリした気分でした。またこのような機会があれば、積極的に参加したいと思います。（２年生）

○　地域清掃は、とても意味のあることだと思います。この活動をすることで、自分も地域の人も気持ちよくなるからです。（２年生）

○　今日は、おおさの川の清掃がありました。いつもお世話になっている地域をキレイにすることができてとても嬉しかったです!! 地域に感謝の気持ちを込めて掃除しました。心まできれいになったような気がします。これからも、地域清掃に参加していきたいし、学校で行っているピックアップ登校にも積極的に参加し、地域をキレイにしていきたいです!!（３年生）

○　（前略）地域の人たちは、私たちの知らないところでも、学校の周りやおおさの川をきれいにしてくださっているので、感謝して、私たちも地域に貢献したいと思います。（３年生）

○　（前略）私は、（運動場の）コースなどにあった水たまりの水抜きをしました。（中略）最後はもう汚れまくりでした。でも、みんなのためにこんなに汚れたことは一生懸命の証しだし、素敵だと思いました。（３年生）

【校区清掃】

【校内清掃】